

GCOE特別講演会報告書

開催日時： 10月21日（木）午後10時30分～12時30分

開催場所： 理学部6号館4階 402講義室

講師： Princeton University Professor Abigail G. Doyle

演題： Catalytic Methods for Enantioselective Fluorination with Fluoride Sources

Doyle 教授は、触媒的不斉合成反応開発の分野において活発に研究を展開し、世界的に高い評価を得ている新進気鋭の若手研究者の一人である。本講演では、これまでに報告例のほとんどない求核的不斉フッ素化反応の開発について紹介して頂いた。光学活性な有機フッ素化合物は、医薬品や材料科学の分野において注目を集めている化合物であり、本化合物の効率的合成手法の開発は、非常に重要な研究課題である。Doyle 教授は、独自のアイデアに基づいて触媒反応系を構築し、これまでに例のない高エナンチオ選択的不斉フッ素化反応の開発に成功した。本講演では、新たな触媒反応系の設計について詳細に解説して頂き、また、本反応の反応機構についての物理化学的考察を丁寧に説明して頂いた。さらに、本反応の実用性を示すため、大量合成への応用についても紹介して頂いた。本講演は、不斉合成反応開発を専門とする研究者のみならず、触媒設計や機能性材料の設計を行う研究者、物理有機化学を専門とする研究者など様々な分野の有機化学者にとって、非常に参考になる有意義な講演であった。

本講演には、大学院理学研究科化学専攻有機化学系研究室（有機化学・有機合成化学・集合有機分子機能）、大学院工学研究科材料化学専攻有機化学系研究室（機能材料設計学・有機反応化学）、化学研究所物質創製化学研究系研究室（有機元素化学）より、教員・ポスドク約15名、学生約23名の参加があった。

